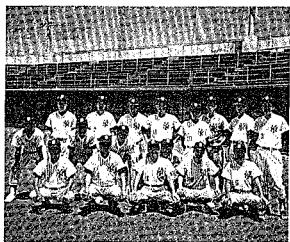


Living in 中村

青木 豊人 (中村)



での応援と、自分の息子や旦那様

が出ていようがいまいが応援してくれる。特に、中村の美人ぞろい

のチアガールの声援を受けると、

プレーしている私たちにとつては

非常に力になるし、恥ずかしいア

レードできない(ミスをすると、

お姉様方の美声?罵声?が飛んで

きますからね)。とまあ、とにかく

すごいので応援している人を応援

したくなつてくる。

結構激しいので見に来ていた大き

たい。四年ほど前から、歌つて踊

れる二人組が現れ、祭りが、時代

が変わつたときやかれている。

私もその二人組に会つて話したこ

とがあるが、大変魅力的な二人な

のでこれからも応援していくたい。

フサケあつて大声で笑える仲間も

できだし、野球の試合で負けで涙

を流せるチームにも出会えた。ま

た、この地でいろいろなことも教

わった。いさつや祭りの振り、

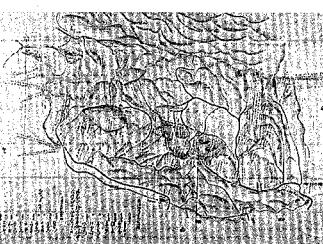
酒の飲み方、そして野球。特に、

野球は私の人生の中で一番の財産

となつた。

それにしても、中村の人たちはなぜみんな応援が好きなのだろうか。少年野球にはじまり青年、壯年、はたまた高校野球の父母亲

このバトンを中村の星山直人さん



新津の文化財(17)

山論裁定絵図及び関係資料

市指定文化財
絵画
昭和56年5月27日指定 (所在地 金津)

上村 (現在の田上町) と橋田村、菅沢村 (現在の五泉市) の訴訟が解決した後、今度は金津村 (現在の新津市) と橋田村との間で、菩提寺山をめぐる境界論争が起きました。そこで、勘定奉行所 (幕府役人) による実地検査が行われ、元禄六年十二月十二日に江戸評定所で採決が出され、金津村の正當性が認められました。

これらの事件は、当時の村民の生活と村の衰退をかけた大きな事件であり、その裁定絵図に関する論争を描いたものです。

山論とは、山地の境界論争のことをいいます。この絵図と関係資料は、元禄四年から六年(一六九一~一九三年)にかけて起きた護摩堂山と菩提寺山をめぐる境界論争を描いたものです。

「新津の文化財」(一冊千八百円)は、市役所一階売店、中央公民館、図書館、勤労青少年ホーム、萩原地区公民館でお求めください。

「新津の文化財」(一冊千八百円)は、市役所一階売店、中央公民館、図書館、勤労青少年

ホーム、萩原地区公民館でお求

めください。

お買物、ご用命は市内で

新津市の人口

男	32,330 (+17)	10月31日現在
女	34,669 (+15)	()は前月比
計	66,999 (+32)	
世帯数	19,386 (+37)	

10月中の動き

出生 55 死亡 33 記入 168
転出 159 結婚 47 離婚 9

※

花に咲して心を贈る
全国どこにでもお届けします



小林生花店

新町1丁目 TEL 22-1080
22-5707(夜)

お歳暮に故郷の味覚
冬梨の王様 新興梨
洋梨の女王 ル・レチエ
◎只今地方発送承り中!

TEL 23-0397
FAX 23-3158

フルーツ & ギフト

やまいし

本町2 (新光商店街)